

評価結果を受けての区への対応（同種事業へのフィードバックする事項）（案）

○豊かな緑化空間の整備の誘導 **推進すべき事項**

本事業では、六本木・虎ノ門地区まちづくりガイドラインに則り、多種多様で豊富な緑に恵まれた都市空間を形成しており、赤坂・虎ノ門緑道の起点として大規模な緑道や、敷地内に約 6,500 m²の緑地空間を創出しています。

地区内の緑は、自然樹林に倣った維持管理を行うことで、周辺の自然樹林（緑の拠点）を結ぶ生物多様性に富んだエコロジカルネットワークを形成し、豊富な緑量は地球温暖化対策に寄与していることが確認できました。

見通しの悪さなど防犯面を懸念する声もありますが、その対策に十分配慮したうえで、開発による自然環境の改善に資する緑のネットワーク網の充実を推進していきます。

○防災施設の整備 **推進すべき事項** **改善すべき事項**

本事業では、災害時に帰宅困難者を 2,600 人程度収容できる大規模な一時受け入れ場所及び防災備蓄倉庫を整備することで、災害時の駅前混乱対策に大きく寄与しました。

また、隣接する赤坂六本木地域冷暖房区域から熱供給区域を拡大する形で地域冷暖房システムを導入し、平時において効率的で安定したエネルギー供給を行うだけでなく、災害時においても安定した電力供給を行うことができることを確認しました。

一方、このような防災の取組について地区内外の認知度は低く、災害時に有効に防災機能を発揮できるのか懸念があります。

今後も引き続き駅前の帰宅困難者対策を推進するとともに、整備した防災施設について、より効果的な周知を行うよう再開発組合を指導・誘導していきます。

○事業によって整備した都市基盤・オープンスペースの活用について **改善すべき事項**

本事業で整備された都市基盤やオープンスペースは、快適な空間の確保、防災性の向上等を目的に整備されました。今回の事後評価において、地下鉄連絡通路や地下鉄連絡広場は、赤坂一丁目地区内外の方々にあまり利用されておらず、かつ、満足度が得られていないことが確認できました。これらの施設については、位置の関係上、利用が特定のエリアに居住・就業する方々に限られており、多くの方に利用されにくい傾向にあると考えられます。

都市基盤・オープンスペースの整備に当たっては、計画段階から運営方針を十分に検討し、訪れる方々が魅力を感じて利用できるよう、再開発組合を指導・誘導していきます。